



市民ギャラリー展示のお知らせ

【碓氷線（上り線）を切り拓いた 6 年の軌跡】

日時：令和 6 年 5 月 1 日～3 1 日 9:00～17:00（最終日は 15:00）
会場：松井田支所 市民ギャラリー（支所正面入口左側） 新堀 2 4 5
主催：碓氷峠鉄道再生研究会 （写真とジオラマを展示）



◆安中市の線路敷き立入許可を受けて、2018 年（平成 30 年）7 月から草刈りと伐採の作業を開始して 5 人で約 6 ヶ月間作業して、12 月 27 日に上り線 1 号トンネル出口から峠の湯の裏付近までの線路上を歩けるようになりました。

当会が作業を開始した 2018 年は 1997 年の廃線から 21 年の歳月が経っており上り線は草木に埋もれていました。

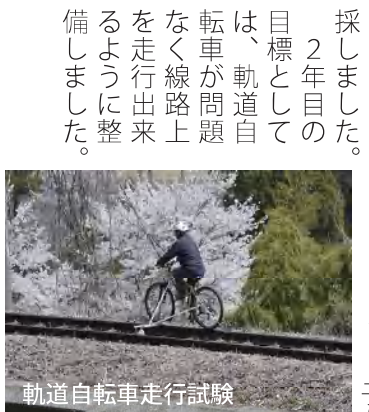
作業開始して 1 年目の成果
2018 年度



2019 年 4 月には、上り線での廃線ウォークも初めて実施されコースの選択肢が増えました。



1 年目の段階では、線路敷きの両側には数や木々が迫っており線路近傍にも切り株が残っています。



2 年目は、線路近傍の切り株や灌木や張り出した枝や蔓を除去して整備範囲を線路の両側まで広げました。廃線後に生えて大きくなった木も可能な範囲で伐採しました。

作業開始して 2 年目の成果
2019 年度



3 年目は、線路上は障害無く軌道自転車も走行出来るようになりましたので、本来の碓氷線の景観を取り戻す作業を始めました。

碓氷線の特徴は、線路敷きの法面を現場打ちのコンクリート格子で固めて格子の中に大きな割石を並べた工法を採用しています。往時には、コンクリート格子が城壁のように連なる壮観な光景が見られましたが廃線後は数に埋もれてしまい見ることが出来ませんでした。

まずは、区間を限ってコンクリート格子の見える景観を木々や藪を除去して復元してみました。

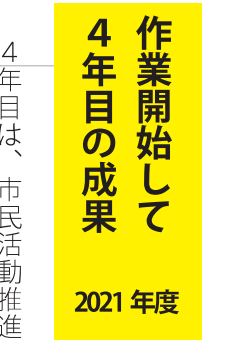
4 年目は、市民活動推進事業補助金という安中市の制度に応募して幸いにも採用になりました。補助金の活用の方としては、廃線後に生えて大きくなった木を架線や電線を損傷せずに伐採するには特殊な技術が必要であり素人の会員には伐採できません。これらの木々の伐採を補助金を活用して特殊伐採の専門家をお願いすることにしました。これで碓氷線の景観復元事業は大きく前進することになります。

補助金は 3 年間支給されるので伐採区域を 3 年計画で決めました。1 年目は、下り線 1 号トンネル出口から約 250 m の範囲を伐採して整備しました。

作業開始して 4 年目の成果
2020 年度



令和 6 年 3 月 31 日発行
第 10 号（年 2 回発行）
発行責任者 嶋村純一
〒379-0223 安中市松井田町二軒在家 307-8
TEL: 027-393-1531
usuitouge@gmail.com



活動経過	
2018 年度	作業回数 16 回 延べ人数 65 人 延べ作業時間 196 時間
2019 年度	作業回数 25 回 延べ人数 67 人 延べ作業時間 201 時間
2020 年度	作業回数 34 回 延べ人数 85 人 延べ作業時間 255 時間
2021 年度	作業回数 30 回 延べ人数 115 人 延べ作業時間 345 時間
2022 年度	作業回数 22 回 延べ人数 65 人 延べ作業時間 195 時間
2023 年度	作業回数 25 回 延べ人数 78 人 延べ作業時間 234 時間
6 年間合計	作業回数 152 回 延べ人数 627 人 延べ作業時間 1430 時間

碓氷峠の未来を描こう

私たちはやっている活動は、郷愁を追いかけているのではなくありません。廃線後 27 年も経つ線路を今にも列車が走ってきそうな状態に整備したのは、これを見た人たちに碓氷峠には鉄道事業が復活できるのではないかと感じてもらいたいです。

廃線前には、横川・軽井沢間 12.3km は、所要時間 17 分。運賃 230 円で結ばれていました。現在のバス輸送では、距離も時間も運賃も倍以上かかります。碓氷峠の廃線により峠を挟んだ二つの地域の交流が阻害されていることは本当に残念です。文明の進歩の中でこの地域は退歩を強いられています。軽井沢の観光客を安中市に呼び込む、峠を挟んだパークアンドライドで軽井沢の混雑を改善できる。碓氷峠の鉄道事業復活は、双方の自治体や地域住民、観光客にもメリットがあります。鉄道復活には時間がかかりますので、それまでは廃線ウォークや音と光の娯楽で営利事業も良いと思います。最終的に目指す目標は鉄道事業復活にフォーカスすべきです。

閉塞した世の中で、碓氷峠の過去に縋るよりも未来に向けて注力する方が安中市民にとっても未来に希望が持てると思います。（嶋）

碓氷線が廃線になる 1997 年 9 月 30 日の映像



【横川駅の最終日の風景】

9 月 30 日の横川駅の夕方の風景。凄い混雑です。TV 中継車も来ています。



【軽井沢駅から矢ヶ崎トンネル入口まで】

軽井沢駅を出発した上り列車から見た車窓風景です。



【最後の列車あさま 37 号を見送る】

峠を登る最後の列車あさま 37



作業前

伐採3カ年計画の最終年は、線路敷きの県道側に生えて大きくなった杉の木を伐採する。架線や電線の間にも生えているので、これらも特殊伐採技術が必要。その他、道路に面したコンクリート格子の中に生えた雑木も電線の高さより大きくなつてますので伐採しました。



廃線前の風景1997年



廃線後21年の風景2018年



廃線後27年 6年の軌跡を経て蘇らせた碓氷線の景観 2024年



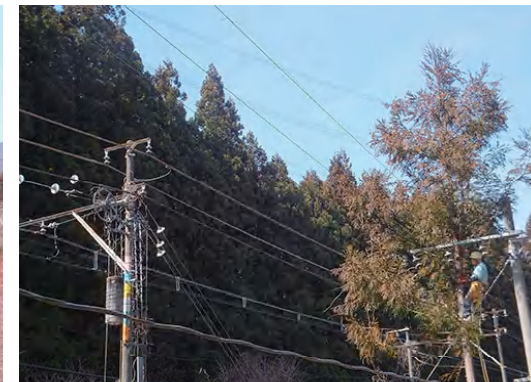
「廃線跡のナイトウォーク」は、安中市は、旧信越本線横川―軽井沢間の廃線跡を活用し、株式会社サンセットフィルムと連携して、新しい夜間観光コンテンツ「MELODIC LIGHT WALK」を令和6年3月30日にオープンしました。この新たな観光コンテンツは、光、音、映像を組み合わせたオリジナルストーリー展開で楽しむ没入型ナイトウォークです。



「廃線跡のナイトウォーク」は、安中市は、旧信越本線横川―軽井沢間の廃線跡を活用し、株式会社サンセットフィルムと連携して、新しい夜間観光コンテンツ「MELODIC LIGHT WALK」を令和6年3月30日にオープンしました。この新たな観光コンテンツは、光、音、映像を組み合わせたオリジナルストーリー展開で楽しむ没入型ナイトウォークです。



作業後



下り線1号トンネル出口付近



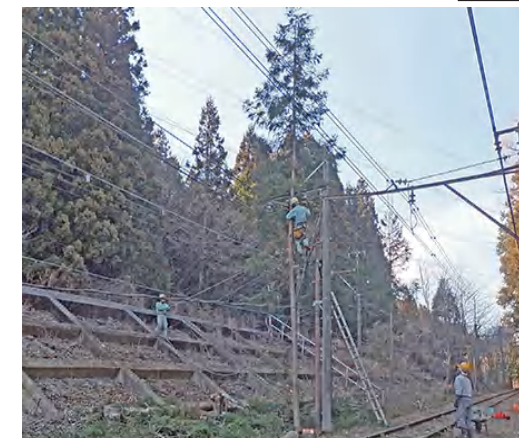
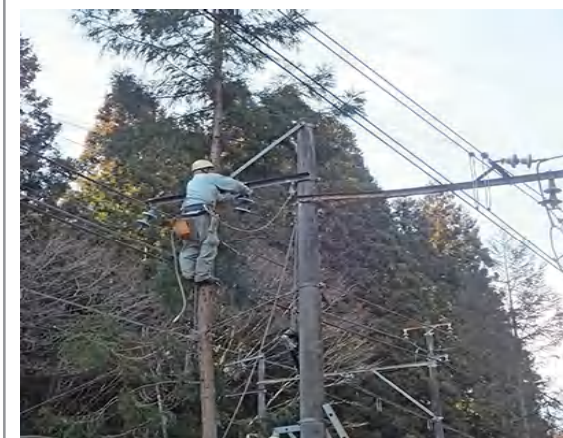
作業後



5年目は、市の補助金の活用2年目になります。補助金の活用は、1年目と同様に廃線後に生えて大きくなった木を伐採するため特殊伐採の専門家にお願いすることにしました。昨年伐採したエリアの軽井沢側に伐採エリアを延伸し約150mの区間を新たに伐採しました。特殊伐採の技術で架線や電線を傷めずに伐採することが出来ました。昨年の整備エリアと合わせて約400mの区間の碓氷線の景観を蘇らせました。

作業開始して5年目の成果

2022年度



6年目は、市の補助金の活用3年目（最終年）になります。補助金の活用は、1、2年目と同様に廃線後に生えて大きくなった木を伐採するため特殊伐採の専門家にお願いすることにしました。今年度は、線路敷きの県道沿いに生えた杉の木と法面のコンクリート格子の中に生えた雑木を伐採しました。市の補助金を活用出来たことで大きな木を伐採することが出来て、約400mの限られた区間ですが碓氷線の往時の景観を蘇らせることが出来ました。

作業開始して6年目の成果

2023年度